

BeNews

2008 AUTUMN

別府大学通信

NO.96

特集・創立100周年記念

学校法人別府大学創立100周年記念式典	2
ゴルフ、国際交流で「前夜祭」	3
南こうせつ100周年記念コンサート	3
つぎの100周年を見据えて新たな人材養成	4
〈100周年記念事業〉	
世界遺産とはなにか	5
食物栄養科の新校舎完成	6
「まわす・ふる・とばす～東アジアの子どものあそび～」展	7
匂いと香りの文化講座	8
100周年で「100メートル・ケーキ」	9
「真理百年の雫」醸造	10
オマチマン・コンサート	10
フランス国立教員養成大学との交流協定	11
夏季国際セミナー	12
地域総合科学科が韓国・安東科学大学生と交流	12
史学科海外研修、『三国志』の史跡を訪ねて	13
別府大学草創期の刊行物と学風	14
2007年度の進路状況	15
別府大学スポーツ振興会 30 周年記念式典	16
チャレンジ！ おおいた国体ボランティア活動	16
卒業生との懇談会を開催	17
将棋選手権で日本一ー明豊高の鈴木絵里菜さん	17
管理栄養士、合格率上昇	18
第一歩 全国舞台の挑戦始まる	18
県下高校生による席上揮毫大会	18
アンケートもとに禁煙教育	18
新任教員紹介	19
事業報告・財務状況報告	22



「サントロペ・夏」松本 篤

学校法人別府大学創立100周年記念式典

歴史の重みを受けとめ、次なる進化を

学校法人別府大学の創立100周年を記念する式典が5月15日、別府市山の手町にある国際コンベンションセンター「B-Con Plaza」で行われた。西村駿一理事長は式辞の中で「100年の歴史の重みをしっかり受けとめ、学園を挙げて、次なる100年に向けてどう進化することができるのかが、私たちに与えられた課題だ」と表明。これに対し、渡海紀三朗文部科学大臣は「常に時代を先取りする取組に努めるなど、優れた教育研究を展開する別府大学への期待は今後ますます大きくなると考えられる」（文部科学省高等教育局私学部 豊岡宏規参事官代読）と期待を表明した。

会場には本学園の大学、短大、高校、中学校、小学校、幼稚園、専修学校から合計5,000人以上が出席。また韓国、中国、台湾の計30校からの89人に国内からの313人を加え、来賓数は全部で404人に上った。

西村理事長は「輝かしい歴史と伝統を踏まえ、学園は『確かな教育 豊かな環境 未来への創造』をテーマに掲げ、これまでに増して地域社会に根ざした教育・学術研究を推進していきたい」と言明。その上で、「現代的課題である食と栄養、そして食と健康を考える『食物栄養科学部』（2002年）、「メディアによる地域社会や海外の大学や研究機関との教育・研究の発信としての『別府大学メディア教育・研究センター』（2006年）、「大分県が所有する

貴重な香りに関する資料を借り受け、国際観光温泉文化都市別府にふさわしい新しい知的な観光をめざした『大分香りの博物館』（2007年）が相次いで誕生したことを振り返った。

さらに西村理事長は「別府大学及び別府大学短期大学部は、大学機関別認証評価で、大学としての標準基準を満たしている大学としての認定を受けた」ことや、「大学は文学部の改組や国際経営学部の創設を積極的に検討するなど学園挙げて社会のニーズに応え得る更なる改革に務め、地域社会に貢献できる人材の育成をめざしている」ことを紹介した。

また地元を代表し、広瀬勝貞大分県知事は、「これからの大分県を担う人材育成が重要であることから『明日の大分を築く心豊かな人づくり』に向けた諸施策を積極的に推進しており、その重要な一翼を担う私学教育の振興に、今後とも積極的に取り組んでいきたい」と意向を示した。

さらに海外の来賓を代表し、韓国の薛東根（ソルトンコン）釜山広域市教育監、台湾の陳爾安（チン ジアン）稲江大学董事長、中国の馮金信（ヒョウ キンシン）魯東大学副校長が祝辞を述べたほか、浜田博別府市長、大沼淳日本私立大学協会会長らからも祝辞が寄せられた。



式典で式辞を述べる西村駿一理事長



文部科学大臣の祝辞を代読する豊岡宏規参事官



祝辞を述べる広瀬勝貞大分県知事

ゴルフ、国際交流で 「前夜祭」

学校法人別府大学創立100周年を記念する「国際交流ゴルフ大会」、「国際交流の夕べ」が5月14日、別府市内で行われた。翌日の記念式典を前に会場は早くも100周年を祝うムード一色となった。

「国際交流ゴルフ大会」は、山麓のスロープが美しいなど景観豊かなコースを設けていることで定評のある別府扇山ゴルフ場で開催。海外から16人、地元財界関係者45人、大学関係者16人の総勢77人が参加し、快晴の下で腕を競い立川次男氏が優勝した。

ゴルフ大会に続き、夕方からは「国際交流の夕べ」が杉の井ホテル(別府市観海寺)で開かれた。会場では100周年を祝福する「ゆふいん源流太鼓」が披露されて場を盛り上げる中、海外姉妹校・交流校の関係者と学園関係者の合わせて約200人が和やかに懇談し、国際交流の輪を広げた。海外から韓国が65人、中国6人、台湾18人の来賓が参加した。また国際交流の夕べでは昼間に開かれたゴルフ大会の表彰式も行われた。



100周年を記念して催された「国際交流の夕べ」

南こうせつ 100周年記念コンサート

客席で踊るカラフルなキャンドルライト、演奏が始まることにどっとわき上がる声援、そして会場一丸となつての軽快な手拍子一。

大分県出身の人気フォーク歌手、南こうせつさんによる学校法人別府大学創立100周年の記念コンサートが5月15日、別府国際コンベンションセンター「B-Con Plaza」で行われた。本学園の小中学生、高校生、大学生に加え、こうせつさんのヒット曲とともに生きてきた「南こうせつ世代」の教職員らもコンサートを楽しんだ。

「100年はたいへんな年月。歴史を刻んだめでたい日にコンサートができてうれしい」と、こうせつさん。歌った曲は「妹」、「うちのお父さん」、そして、こうせつさんが作曲し、妻の育代さんが作詞した明星小学校、明豊中学・高等学校校歌「明日への旅」など全部で13曲。35年前の大ヒット曲「神田川」の演奏が始まると、会場からは「わーっ」と大歓声も飛び交った。

興奮覚めやらない中で行われたアンコール曲では、こうせつさんが「明日への旅」を再び熱唱。最後は会場を埋め尽くした6,000人以上の来賓、学生、職員らも加わった大合唱で盛り上がりは最高潮に達した。



つぎの100年を見据えて新たな人材養成

文学部の改組と国際経営学部を設置（認可申請中）

別府大学学長 西村 明

いま、別府大学は100周年を節目に教育研究体制を改革し、新たな方向に歩み始めました。

この間全学的な協力のもとで文学部の6学科を3学科に再編成し、新たに国際経営学部を設置する改革案が検討されてきましたが、お陰でこの6月30日に改組及び食物バイオ学科の発酵食品学科への名称変更が文科省によって認められ、大学は新たな方向に動き始めました。これらの改革の基本的な目的は、学生の目線に立って教育を行い、社会のニーズに合致した人材を育成し、国際学界と地域社会へより深く貢献するということであります。100周年を迎えた学校法人別府大学の伝統の重みを受けとめ、さらなる100年のために礎を築いておくことがいま大学に勤めているものの責務ではないかと考えます。

全学的に少人数教育を徹底し、4年間にわたる演習制を採用し、教養科目と専門科目との有機的なカリキュラムを編成し、ゆきとどいた初年次教育と豊かな学士力教育を充実・強化することがこのたびの改革の基本的な内容であります。そしてなによりも、従来の学科の壁をなくし、学生の専攻できる専門の幅を拡大し、大学に入った以上必ず卒業させ、希望する就職先に就かせることがもっとも大切な課題であります。いま進めている国際経営学部は、また、これまでの文学部と食物栄養科学部の教育内容と連動し、それらとの相乗効果を高め、教育内容・進路の多様化を推進することになるでしょう。国際経営学部に配置されるスタッフの多くは経営実務経験があり、しかも大学で教鞭をとっている人びとであり、上記のような改革の基本方向に向かって一体となり協力するならば、九州にはこれまで見られなかったユニークな学部が誕生

することになります。別府においてこそ、豊かな自然と暖かい人間関係を基礎に先端的な国際経営学を教育する場が形成され、新たな時代を担う国際的な経営管理者の養成が可能となるのです。

改組・新学部の設置を契機に改革の方向をしっかりと受けとめ、「真理はわれらを自由にする」という建学の精神をさらに多面的に、しかも深く展開していかなければならないと思っております。

◎国際経営学部棟の建設始まる

学校法人別府大学創立100周年記念事業の一環として新設される国際経営学部の校舎新築工事の起工式が7月15日に行われた。校舎は鉄筋コンクリート造5階建て、総床面積は3,012平方メートル。1階が図書館となるほか、2階から5階までに講義室、演習室が設けられる。また5階には研究室、会議室もできる予定。竣工は2009年2月28日。



国際経営学部棟完成予想図

世界遺産とはなにか

<100周年記念事業>

昨年、「石見銀山遺跡とその文化的景観」が世界遺産に登録された。わが国では、各地で新たな世界遺産登録を目指す取り組みが進められている。これらの取り組みには、地域の文化遺産を広く世界的な視野で見直し、その環境も含めて保護・活用することによって、地域文化の継承と振興を図ろうという願いが込められている。「石見銀山遺跡とその文化的景観」は、そうした長年の取り組みが実ったものと言えよう。

さて、本年、学校法人別府大学創立100周年記念事業の一つとして、さまざまな視角から「世界遺産」を取り上げることとした。先ず、「地域から見た世界遺産」のテーマのもと、熊本・福岡・宮崎でシンポジウムを開催し、それぞれの地域での世界遺産登録を目指す取り組みを考える。既に、熊本・福岡・宮崎ではシンポジウムが開催され、多数の聴衆が参加、講師の熱心な説明に耳を傾けるとともに、活発な議論が展開された。特に、各講師は長年に亘り世界遺産登録に携わっており、豊富なフィールドワークにもとづいた解説には強い説得力があった。各会場で得られた成果は11月に別府大学で開催される国際シンポジウムの中で、世界・アジア・日本の問題として、さらに議論が深められるであろう。

シンポジウム「地域から見た世界遺産」

熊本会場では、7月6日(日)、アークホテル熊本において別府大学の飯沼賢司教授、天草市教育委員会の平田豊弘氏、阿蘇市教育委員会の緒方徹氏が講演されました。また、福岡会場では、7月13日(日)、ホテルコムズ福岡において別府大学の後藤宗俊教授、宗像市教育委員会の岡崇氏、石見銀山資料館長の仲野義文氏が講演されました。また、宮崎会場では、8月10日(日)、MRTミックスにおいて別府大学の段上達雄教授、沖縄県教育委員会の金城透氏、宮崎大学名誉教授で綾の照葉樹林を世界遺産に登録する会代表の上野登氏が講演されました。

史学科 利光正文

国際シンポジウム「世界遺産とはなにか」

〈講演〉11月8日(土) 13:00～15:30

別府大学3号館ホール

□フランス モンペリエ大学教授 ジャン・フランソワ・パンション「フランスの世界遺産の諸要素—中世都市ナルボンヌとローマ属州の都市ラングドック—」

□上智大学長 石澤良昭「天空の寺院アンコール・ワット—歴史を塗り替える仏像発掘—」

〈講演〉11月9日(日) 10:00～12:00

別府大学3号館ホール

□中国 復旦大学教授 石 源華「中国の世界遺産登録についての現状と課題」

□韓国 ソウル大学名誉教授 任 孝宰「韓国における世界遺産の現状と課題—支石墓を中心として—」

〈シンポジウム〉13:00～15:30

別府大学3号館ホール

パネラー；中村俊介（朝日新聞福岡支局記者）、関口広隆（日本ユネスコ連盟教育文化事業部課長）、仲野義文（石見銀山資料館長）、石澤良昭（上智大学長）、後藤宗俊（別府大学教授）

コーディネーター；飯沼賢司（別府大学教授）



食物栄養科の新校舎完成

<100周年記念事業>

別府大学短期大学部食物栄養科の新校舎が5月20日完成し、竣工式が行われました。新校舎は耐震性の鉄筋コンクリート造り6階建て、延べ床面積2,016平方メートル、総事業費は5億円だった。短期大学部の古い校舎は昭和39年に4階建てで建設されました。しかし老朽化が目立つようになったことから、100周年記念事業の一環として昨年8月に新校舎の建設に着手していました。

1階は、短期大学部福祉専攻科の介護・入浴実習室など、2階は食物栄養科の調理室など、3階は理化学実験室、4階から6階までは研究室や講義室があります。

短期大学部食物栄養科は創設以来54年の長い歴史と

伝統を有し、その間5,000名をこえる卒業生を世に送り出すとともに、卒業生は県内外の行政官庁、学校現場、医療・福祉等で栄養士や栄養教諭として活躍しています。

また、「食の専門家」として地域社会の食の教育や食文化の振興にもおいに貢献しております。



新学舎の完成により、調理実習室は「調理の出来る栄養士」を目指した実習室が備わり、より充実した教育が実施できる態勢が整いました。試食演習室が一室増となり、調理実習室は、実習の手元を映したり、細かな調理技術が映してみられるビデオ設備を備えております。在学生だけでなく、対外的な料理講習会や卒業生にも使って頂ける施設になっています。

また、理化学実験室は、食べ物の科学的根拠となるデータを出すことの可能な分析器も新しく購入し、食品学、衛生学、解剖学の実験・実習も円滑に行うことが出来るとともに、質の高い栄養士養成の態勢が整った幸いです。

創立100周年のおめでたい年に完成した新しい学舎が食物栄養科の学生にとって充実する教育の場となることを願っています。

短期大学部食物栄養科 平包留美



新しい実習室で楽しい食事

「まわす・ふる・とばす～東アジアの
子どものあそび～」展

＜100周年記念事業＞



昔懐かしい日本の玩具

別府大学附属博物館とアジア歴史文化研究所では、平成20年5月12日(火)から7月25日(金)にかけて、別府大学創立100周年記念事業「まわす・ふる・とばす～東アジアの子どものあそび～」展を開催した。博物館と研究所では、2001年には「お正月を飾る～東アジアの正月文化～」、2003年には「いれる・たてる・あじわう～東アジアのお茶の歴史と文化～」、2005年には「つかむ・すくう・たべる～東アジアのく箸と匙>の歴史と文化～」、2007年には「さす・ふせぐ・かぶる～東アジアのく傘・蓋・笠>の歴史と文化～」を開くなど、東アジアの生活文化をとりあげて企画展を開催してきた。今回は子どもの遊びに注目し、日本・韓国・中国の子

どもたちの遊びの道具を比較し、東アジア
 の生活文化について見直そうという企画。
 展示は記念館（18号館）4階の第2展示室
 において月曜日から金曜日の午前9時から
 午後5時まで公開した。

展示では先ず第一に日本と韓国の伝統的玩具を展示している。凧揚げや独楽回しは東アジアでは人気がある遊びだが、各国の凧や独楽には独特な形のもの多い。チェギと呼ばれる重し付きの羽を足で蹴るチェギチャギ（チェギ蹴り）は、韓国の男児の遊びとして最も人気のある遊びであったが、中国

には類似の遊びがあるが、日本にはない。韓国のユンノリ（韓国すごろく）は老若男女が楽しんだ正月の代表的な遊びである。ユッパンというすごろくの紙を中央に敷き、サイコロの代わりにユッ4本を投げて進む数を決めるという特徴がある。また、日本の昭和30年代を中心にした遊び道具も展示している。昔懐かしい遊び道具には、ゴム銃や紙鉄砲など自作のものも多く、子供たちが簡単な道具でいかに創造的に遊んでいたかが分かる。また、7月9日には荒金学氏による特別講演も行われ、その他にも7月には子供たちと学生たちが交流する催しもあった。

別府大学附属博物館 段上達雄

匂いと香りの文化講座

<100周年記念事業>

昨年11月に、大分県より旧・大分香りの森博物館の収蔵品の無償貸与をうけ、別府大学隣接地に「大分香りの博物館」がオープンした。「匂いと香りの文化講座」は、学園創立100周年および「大分香りの博物館」の開館を記念して行う事業で、別府大学を会場に、本年から来年にかけ計12回を公開講座形式で開催することになっている。いずれも、国内外で活躍中の著名な方々を講師として招き、匂いや香りについての専門的な話のほか、匂いや香りの思い出話やエピソードなどを盛り込んだ内容の講演がおこなわれる。本講座は、本学客員教授である東京農業大学教授小泉武夫先生と食物栄養科学部が中心となって企画したもので、匂いや香りにまつわる講演がこれほど多くまとめて開催される例は、これまでほとんど知られておらず、きわめてめずらしいものといえよう。



ユーモラスを交えて語る永山久夫先生

12回の講演が終わったのち、講演内容を1冊の本にまとめて出版する予定となっている。

第一回は、6月21日に、「匂いの文化誌」の著者で、環境省の感覚環境設計企画などを手がける香りのデザイン研究所所長の吉武利文氏が「東西の香りの歴史」と題して講演を行った。人間が昔から香りを生活に取り入れていた様子や、東洋と西洋の香りの違い、宗教や癒しでの使用法などスライドを用いてわかりやすく紹介し、また、聴講者はろ紙に浸した香りを実際に楽しんだ。7月19日は、食文化史研究家で、日経新聞に「長寿の食卓」を連載中の永山久夫氏が講師を務めた。永山氏は「たべもの古代史」ほか多数の著書があるが、各時代の食事復元研究の第一人者である。なお、本年の講演プログラムは以下のようになっている。

会場：別府大学3号館ホール

日時：土曜日13:30～15:30

- 講座1** 香りのデザイン研究所所長 吉武利文先生 6月21日
題目「東西の香りの歴史(日本と西洋の香りの歴史)」
- 講座2** 食物史研究家 永山久夫先生 7月19日
題目「匂い、香りも味のうちー五感で料理を楽しむ日本人ー」
- 講座3** 詩人 高橋睦郎先生 9月20日
題目「詩歌に見る香りと匂い」
- 講座4** 東京大学名誉教授、学士院賞 文化功労者 小田島雄志先生 10月18日
題目「シェイクスピアと香り」
- 講座5** 作家 椎名誠先生 11月15日
題目「旅と匂いの思い出」
- 講座6** 作家 塩田丸男先生 12月6日
題目「日本人と香り」

食物栄養学科 江崎一子

100周年で「100メートル・ケーキ」

<100周年記念事業>

別府大学の創立百周年を記念して、同大学の学生や付属幼稚園児（保護者含む）や地域の方々、教職員ら約500人で5月14日、学内キャンパスで百メートルのロールケーキ作りに挑戦し、見事に完成いたしました。

ロールケーキ作りの発想は、百周年記念に学生や教職員等が協同一致で行え、また記念に残る催し、そして全員が一丸となって取り組むものとして浮かんだものがロールケーキ作りでした。早速、学科長を通じて記念行事事業に申請した所、採用が決まり、ロールケーキ作りの挑戦となりました。まず、催しの案内準備と100メートル分のロールケーキ生地のスポンジケーキを焼き上げる事を最優先し、数回の試作後に、食材の購入「卵1,260個、小麦粉21kg、砂糖25kg」と具材のジャム、クリームを購入し、作業に入りました。製作は、食物栄養学科4年生を中心に菓子作りの好きな学生と教職員、総勢述べ20人程でスポンジケーキを3日間で280枚（40cm×30cm）を何とか焼き上げることが出来ました。苦労した点は、不特定の方々が食べるため食中毒を起こさない安全で衛生面の配慮と美味しく喜んで頂く事を意識して作りました。

今回の催しは、「みんなで力を合わせて、100メートルロールケーキを作ろう」をテーマにしていたので、最終的な進行の打ち合わせは教職員の方々が対応して頂き、屋外でのテーブルセッティング、器具、食材

（ジャム、クリーム）等の運搬は食物栄養学科の学生の協力を得て、スムーズに進行が出来ました。

感想として、雨模様の天候の中で始まったロールケーキ作りは、巻き終えて皆さんが笑顔で食べる頃に青空が広がり、その心地良い青空を見て、安堵感といえますかホットした心境でした。そして報道関係のテレビ局や新聞社が数多く取材に来て頂き話題性が高かった事にも驚きました。

最後にロールケーキを巻く時、食べるときの幼稚園児の楽しい笑顔、また多くの方々が喜んで頂いたことが印象に残りました。そして、多くの方々に準備やロールケーキ作りに参加して頂き感謝申し上げます。

食物栄養学科 星野 隆



「真理 百年の雫」醸造

<100周年記念事業>

大吟醸酒造りの粋を尽くしたお酒・別府大吟醸『真理 百年の雫』が、別府大学 100 周年記念事業として製造されました。製造にあたった萱島酒造の萱島進社長が「酒造好適米を中心部まで磨きあげ、10℃以下の低温で長期醗酵させた心地よい香と軽くソフトな膨らみをもつ旨いお酒」と言われる程の自信作です。

清酒『真理 百年の雫』（江崎一子教授 命名）のラベルや箱のブランドデザインを渡海道英准教授にお願いしました。渡海先生がテーマカラーをブルーグリーンとし、別府のひとびとと若さ溢れる別府大学生、そして自然を表現された作品に仕上げました。ひとびとと別府の緑豊かな自然が織りなし、百年の時空を超え漲る『雫』。この雫は別府湾へ注がれ、波紋となり『真理 百年の雫』が別府湾、世界へと弛みなく流れゆく様を表現している。「百周年を迎える別府大学」と題する、つぎの西村明学長の寄稿文がベックラベルや箱に刷り込まれている。

真理を求め、自由を愛する人びとが漲らせた『真理 百年の雫』この雫を別府大吟醸にたくし世に出す。いま、『真理はわれらを自由にする』の建学の精神のもと新たな知的創造に向け飛躍を始める。

食物バイオ学科 森口充暁



オマチマン・コンサート

<100周年記念事業>



体育館に集まる親子は、少し緊張している様子。園長挨拶に始まり、いよいよオマチマンコンサート

早速子ども達の興味を引き出すため、まずは、前に集めて紙芝居や手遊びをする。子どもたちは、オマチマンの表情や言葉に自然と吸い込まれるかのように見入り、反応したりいろいろな表情を真似したり。

あっという間に緊張もほぐれたかのような子どもたち。そして、子どもたち以上に保護者の方々のあふれんばかりの笑顔が見られ始めた。

音楽に合わせじゃんけんをして、負けた方が床に寝転がり、“親から子へ 子から親へ” 身体に触れたり、高く抱きかかえたり、おでこや鼻、様々なパーツをくっつけあったりと次々と展開されていく、数々の歌遊びや身体を使った遊び。

また、いくつか並べられた楽器の中から「一期一会」という沖縄の民族楽器三線をモチーフとした、4弦の楽器で“沖縄ロックンロール”の曲を弾き語ると、自然と拍手が湧き起こった。

最後には「たまごの中から」というパネルシアターをして職員も一緒に出る前に“たまごの中から”とみんなの大好きな“世界中のこどもたちが”の演奏で会場が一体感となり締めくくった。

日頃出来そうで出来ない関わりが、今回の 100 周年記念事業により、親子そして、職員にとってもとても充実した意味のあるものになった。

明星幼稚園 大井万由子

フランス国立教員養成大学との交流協定



フランス国立教員養成大学(IUFM)は1990年に設立され、フランス全土に30以上の分校を持っている。そのうちのひとつで、パリ東部のリブリ・ガルガンにある分校(正式名称:パリ第12大学クレティユ国立教員養成所)と短期大学部の交流は3年前から始まり、2006年4月にIUFMの教員と学生たちが本学を訪れ、日本の初等教育に関する研修を行った。この契機は、元本学校教員の佐々木光先生が柔道指南に訪れたことによるものであった。

その際にIUFMから、本学の学生たちもIUFMに来て研修を行わないかとの誘いがあり、2007年2月には初等教育科と保育科の学生たち10名が引率教員とともに渡仏し、フランスの初等教育に関する研修を行った。学生たちはIUFMの学生たちの家にホームステイをしながら、IUFMの美術・音楽・造形等の授業を受講し、フランスの小学校・幼稚園・保育所を視察した。

そして同年4月にはIUFMの教員と学生たちが再び本学を訪れ、また今年の2月には初等教育科・保育科・専攻科初等教育の学生たち10名と引率教員が再びIUFMを訪れ、研修を行った。

この交流の実績に基づき、両大学の間で正式に交流協定を結ぼうという合意に達し、4月24日、IUFMが今年の研修のために本学を訪れた際に交流協定調印式を行う運

びとなった。協定の目的は教員養成大学として、両国の教育、教員養成制度を学びあい、理解を深めるというものである。

520会議室で行われた調印式には、本学からは西村駿一理事長、田中恒治短期大学部学長以下19名の教職員と今年2月のIUFMの研修に参加した3名の学生、IUFMからは引率教員アントワネット・ノール教授と学生14名が出席した。西村理事長とノール教授の挨拶の後、協定書と覚書に調印を交わした。

今回来日したIUFMの学生たちは、初等教育科・保育科・専攻科初等教育専攻の授業を受講し、書道を学び、別大附属幼稚園、明星小学校等を視察し、学生、児童たちと交流した。フランス側の関心は、日本の精神文化を教育の中で子供たちにどのように伝えているかというもので、古い伝統の継承と新しい文化の創造に関する質問が出ていた。今回の交流協定調印を機に、本学とIUFNMの間で、今後は学生派遣に加え、単位互換、教員派遣等を実施することにより、交流がますます発展することが期待される。

フランス人留学生の感想(オレリー・コキレット)

今回、私たちは京都と別府を訪れました。初めて日本を訪れた私たちにとって、日本古来の仏教と神道の伝統を伝える神社・寺・石仏等は、フランス文化とはまったく違って、新鮮な驚きでした。また日本は、都会も田舎も様に静かで気品が感じられ、人々は優しく、親切で、丁寧でした。そして山と海に囲まれた別府の自然も私たちは気に入りました。

小学校・幼稚園・保育園を視察しましたが、日本の子供たちは、早い年齢から、責任感、独立心、教師や大人に対する信頼を植え付けられる教育が施されていることに感心しました。私たちは、将来教師になった時、今回学んだ日本の初等教育の良い面を教育の中に生かしてゆきたいと思っています。

短期大学部保育科 八幡雅彦

夏季国際セミナー

今年も「夏季国際セミナー」が始まりました。今年は7月22日から8月11日まで、海外の姉妹校を中心に4ヶ国15校253名(学生236名・引率者17名)が参加します。参加学生たちは華道・茶道・書道といった日本の伝統文化を体験的に学ぶほか、本学短期大学部の食物栄養科や初等教育科の学生と、郷土料理の「だんご汁」を作ったり、折り紙で鶴を制作するなどの交流を行います。特に「ゆかた」の試着は学生たちにとっては初めての体験で、お互いに記念写真を取り合っ



別科日本語課程

	学 校 名	国	学生数	引率者	参加期間
1	浦項大学	韓国	6	0	7月21日～8月11日
2	朝鮮大学外国語大学	韓国	29	1	7月21日～8月11日
3	国立順天大学校	韓国	19	2	7月22日～8月11日
4	韓国国際大学	韓国	3	0	7月22日～8月11日
5	東元大学	韓国	15	1	7月22日～8月11日
6	漢陽女子大学	韓国	16	1	7月22日～8月11日
7	慶星大学校	韓国	28	2	7月22日～8月11日
8	仁済大学校	韓国	14	1	7月22日～8月11日
9	安山工科大学	韓国	17	1	7月29日～8月11日
10	建陽高等学校	韓国	14	1	7月29日～8月11日
11	キングモンクット工科大学	タイ	5	3	7月22日～8月11日
12	新民高校	台湾	34	2	7月22日～8月11日
13	稲江高級職業学校	台湾	31	1	7月22日～8月11日
14	明道大学	台湾	1	0	7月29日～8月11日
15	ハノイ国家大学	ベトナム	4	1	7月29日～8月11日

地域総合科学科が韓国 安東科学大学生と交流

7月2日(水)に安東科学大学の学生28名と引率の先生方4名が大分校を訪問しました。梅雨の真只中の日程だったため、当日は朝から大雨。



しかし、バスに乗った安東科学大学のみなさんが大分キャンパスに到着すると、それまでの雨が嘘の様に止み、地域総合科学科1年生58名が青空の下、両手に両国の旗を振りながら元気に出迎えました。

まずは、歓迎式典。地域総合科学科1年生を代表して武原あかねさんと志村千尋さんがそれぞれ韓国語と日本語で歓迎の挨拶、そして、安東科学大学のみなさんの自己紹介が行われました。その後、キャンパス見学が行われ、安東のみなさんは大分校の文化ホールの音響の良さに感心していました。そして交流会では、先ず両国の学生合わせて10名程度の小さなグループに分かれ、名刺や記念品の交換を行い、そして空気が和んできた後半、全員で食堂に集まり、お茶とスナックを囲んでの懇談会にビンゴゲーム大会で楽しく時を過ごしました。韓国語を学ぶ地域総合科学科の学生は通訳として活躍。力試しの絶好の場となった様です。全員で記念撮影の後、お別れとなりましたが、みんな名残惜しそうに、いつまでも去っていくバスを見送っていました。地域総合科学科の学生は10月に韓国研修に出掛けます。今回の交流会は学生の研修旅行への思いを大きく膨らませたのではないのでしょうか。

地域総合科学科 三浦勝良

史学科海外研修、『三国志』の史跡を訪ねて



長江に面した赤壁の古戦場

史学科では毎年、国内・海外の研修旅行や研究調査を企画し、国内外の史跡や博物館を訪ね、見学や調査を行っています。特に海外研修では、これまで様々な国や地域に出かけ、「歴史の現場」に立って歴史上の出来事に思いを馳せてきました。最近の事例を紹介しますと、2004年は東欧を訪問し、ホロコーストの現場であるアウシュビッツ収容所などを見学し、2006年はメキシコに出かけ、「新世界の七不思議」にも選定されたテオティワカンなどのマヤ遺跡を見学しました。

昨年(2007年)は中国を訪れ、三国時代の史跡を見学しました。三国時代といえば『三国志』の英雄・豪傑がすぐに脳裏に浮かびますが、この研修では彼らが活躍した「歴史の現場」を訪ねました。8日間の旅程で、「赤壁の戦い」の武漢(湖北省)、「武侯祠(諸葛孔明の墓廟)」の成都(四川省)、「五丈原の戦い」の西安(陝西省)を巡りました。写真①は長江(揚子江)に面した「赤壁」です。劉備と呉の周瑜によって曹操の船団が焼き尽くされた地で、炎で岸壁が赤く

なったのが地名の由来といえます。写真②は宝鷄(西安近郊)の五丈原に建つ「諸葛孔明廟」です。五丈原は黄河の支流渭水を望む地で、廟は地上100メートルほどの河岸段丘の上にあります。孔明がこの地に立ち、遙か彼方の司馬懿の陣を望んだのかと想像すると胸が熱くなりました。このほか、四川省広漢にある異形の青銅器が出土した「三星堆遺跡」や、西安近郊の臨潼にある「秦の始皇帝陵」や「兵馬俑博物館」なども見学しました。

今、中国では北京オリンピックが開催されていますが、昨年、中国を訪問した時は、オリンピックを控えて都市のインフラや観光地の整備が進められていました。特に中国を代表する古都西安では、史跡を観光スポットにするための工事が急ピッチで進められており、唐の都長安をしのぶ史跡が次々に重点観光区に変貌を遂げていました。西安の良さは大唐長安の風情を彷彿とさせるのんびりとした佇まいにありましたが、それが失われてゆくのを目のあたりにし、大変残念な思いがしました。

史学科 友永 植



五丈原の諸葛孔明廟

別府大学草創期の刊行物と学風

別府大学100年の歴史を通して、校主や校名には幾度かの変遷をみたが、学園には常に自由な空気が醸成され、教育の場に掲げられた確かな理念と学風があった。この学園の周辺にあっては、戦前から戦後への大変革期にあっても、自由にしてアカデミックな学風が漲っていたことは、次のような刊行物によって知られよう。すなわち、新任早々の今村孝次による昭和実践女学校の校友会誌『コレチオの華』（昭和3・4年ころ創刊）や、佐藤義詮が編集発行した『二豊人文』（昭和6年）、終戦1年後の21年10月、別府女学院文芸部によって創刊された「ACADEMIA」（あかでみあ）、学園和歌集「ふもと」（昭和25年）、別府女子専門学校の同窓会誌「LE BOIS」（ル・ボア）（昭和27年）などである。

『コレチオの華』の刊行経緯については、その全貌は知りえないが「カレチオ」と云うハイカラーな誌名や、僅かに遺残するNo.8号の内容などからみて、かなり濃度ある専門的な研究誌であったことが知られる。

「あかでみあ」創刊号は、教員の随筆数篇のほか、自由を謳歌する女子学生の作品を多く収載し、巻頭言には『経済的に「学問の自由」の貧弱な日本のなかにあって、女性は努めて学問を志すべきである」との主張が見える。本誌は2号で終わっただけだが、発行人・発行者は「えるびす・そさえて」とあり、校長佐藤義の居所らしい。「あかでみあ」は、直後に駐留軍により検閲された「ランゲ文庫」に収められており、当時、注目を浴びる刊行物であったらしい。同窓会誌「ル・ボア」は、昭和27年に創刊されたもので、今日なお続

刊されている。教員と学生が同体となって文芸活動に励む情景が髣髴する。別府女子大学が誕生すると、いち早く、別府大学会が発足し、『別府女子大学紀要』（26年1月）が創刊され、大学としての学術研究活動が組織化された。

文化財学科 後藤重巳



「ル・ボア」創刊号・第2号



「あかでみあ」創刊号



「コレチオの華」第8号

2007年度の進路状況

日本の経済は、全国的な動向として好転の兆しが見られるとの報道が多く聞かれるが、九州を中心とする地方都市では、新聞等で報じられているような景気回復の影響は、大都会と比較してまだ見られず、昨年度とあまり変化のない就職状況であった。本学の就職状況は、平成19年度、大学・文学部92%、食物栄養学部97%、短大99%と平成18年度より就職率はやや増加している。

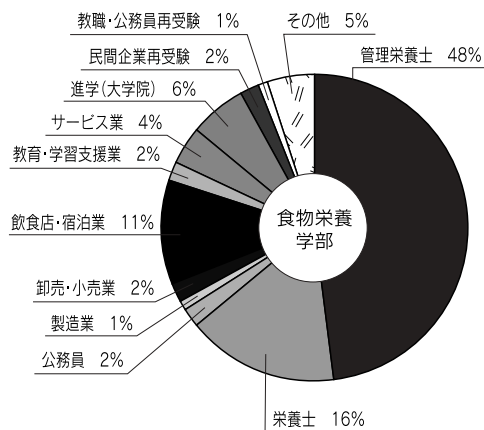
大学では、大学院への進学者が本学の大学院への進学者とともに増加の傾向にある。また公務員、教員をはじめいろんな職種にも就職している。

短期大学部では、それぞれの学科の特色に応じて、自分の専門の資格を生かした職場への就職が多く、依然として地元就職が中心である。また4年生大学への3年編入者、本学の初教・福祉専攻科の進学者も多い。

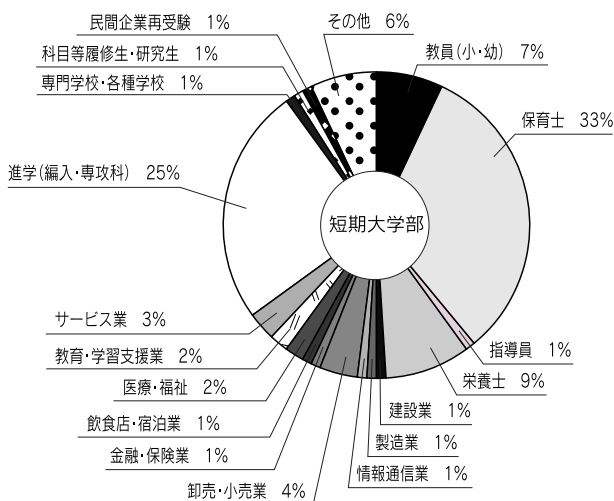
今後は、全国的な動向に見られるように学生の就職に対する意識改革をより一層強めるとともに、キャリア教育の充実に取り組んでおります。

進路情報センター

■ 別府大学 食物栄養科学部



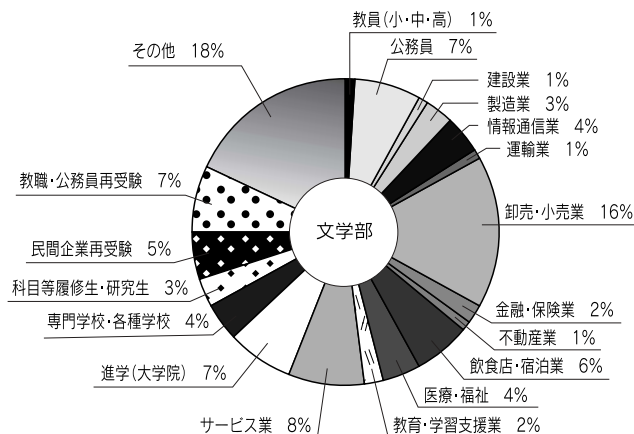
■ 別府大学短期大学部



別府大学・別府大学短期大学部

2008年3月卒業生進路状況

■ 別府大学 文学部



別府大学スポーツ振興会 30周年記念式典

スポーツ振興会（学生団体）発足30周年の記念イベントが学内外82名の方々に来賓に招き、7月12日（土）午後1時30分より本学の3号館ホールで盛大に開催された。

建学の精神《真理はわれらを自由にする》を発足理念とし成長し続けるスポーツ振興会は、本年開催される大分国体への協力態勢が評価を受けていること、インターカレッジ幹事校（インカレの企画・立案・運営を実施する大学）に指定されたこと、交通安全ボランティア活動においてその実績が評価を受け交通安全協会賞を授与されたことなど、あらゆる方面より評価を受ける団体にまで成長している。このスポーツ振興会は他大学に類を見ないほどの組織力を有するが、それは、体育系26サークルのそれぞれが充実した自治運営を健全に実行していることを証明していることにもなる。学生自らが練習メニューを考え、本試合までをトータルの管理・分析していくという本来の大学生の持つべき姿がここにある。

この組織力をもってこの記念式典を期に今後も精進し、スポーツ振興会に所属する全学生が学生生活を有意義におくるよう期待したい。

（別府大学スポーツ振興会：体育系サークル26サークルをとりまとめた学生自治団体）

スポーツ振興会 第30代会長 横尾啓太



チャレンジ！おおいた国体 ボランティア活動

第63回 国民体育大会・第8回 全国障害者スポーツ大会

本年9月27日（土）～10月7日（火）に開催される国民体育大会と、10月11日（土）～13日（月）に開催される全国障害者スポーツ大会に、別府大学、別府大学短期大学部よりサークル活動団体に所属している学生を中心として、およそ1500名がボランティア参加する。大分県内の各種団体の中では最も多くの人員を派遣する予定である。それだけに本学においては3年前よりスポーツ振興会（学生団体）、文化会（学生団体）が準備をすすめてきた。

一昨年前の兵庫のじぎく国体の視察や昨年の秋田わか杉国体の視察で、あらかじめ課題となる様々な問題点を早くから県の国体局へ投げかけてきたこと。更にはボランティア参加する上で欠かせないアスリートの心情動向などの知識を習得するために、幾度となく研修会へ足を運んできたこと。大分県に来県する方々への接遇など。その成果が間もなく試されようとしている。大分県あげての国体を成功させるべく大いに貢献できるよう学生の準備に余念はない。

参加するボランティア活動

選手団担当ボランティア、競技補助員、おもてなしボランティア、要約筆記ボランティア、留学生ボランティア、ビデオ・カメラ等記録ボランティア、式典音楽隊ボランティア、ふうせんバレーボール（オープン競技）審判員ボランティア、別府市開催競技同行ボランティア

《8月11日現在》

別府大学学生課 瀬戸山賢介

卒業生との懇談会を開催



附属看護専門学校は39年目となり、数多くの卒業生を送り出してきました。卒業生の多くは、大分県内を中心に・県外でも活

躍をしています。

そこで、毎年第一線で活躍されている先輩方を招き、後輩たちと交流をはかる一環として「卒業生との懇談会」を開催しています。目的としては①先輩の経験を通して専門職業人としての看護師の役割を知るとともに看護観を深める。②先輩の経験した進路選択、学校生活の過ごし方などを今後に生かす、です。さらに、同窓会との連携を保ち、相互の発展に繋げるため、同窓会の協力のもと開催されています。平成20年度は7月19日(土)別府大学メディア教育・研究センターで開催いたしました。今年度は、卒業後看護師のみでなく、さらに専門職の資格を取得された3名の卒業生をお招きしました。現在は理学療法士、リンパ・アロマセラピスト、助産師としてご活躍中の方々に、現在の職業に付かれた理由や専門領域の視野に立って看護師に求めること、看護師として身につけてほしいことなど体験に基づいたお話しをしていただきました。

学生の感想は、「進路選択をするうえで参考になった。願うだけではだめで、目標達成のため行動すること、あきらめないことを教えてもらった。」また、専門的知識を深めることは、自分の視野を広げることであり学習の動機になった。などでありました。今後も、同窓会との結びつきを大切にし卒業生との交流の場をつくりながら、社会に貢献できる看護師の育成をしていきたい。

附属看護専門学校 吉丸京子

将棋選手権で日本一 明豊高の鈴木絵里菜さん

第44回全国高等学校将棋選手権大会が8月6日、7日に群馬県前橋市の「群馬県生涯学習センター」で開催され、女子個人戦で明豊高等学校2年生の鈴木絵里菜さんが見事、優勝に輝いた。個人、団体を通して、大分県高校将棋界の全国優勝は初めてとなる快挙だった。

将棋大会選手権は、日本将棋連盟・全国高等学校文化連盟が主催し、男子の団体・個人、女子の団体・個人の4部門で構成される。女子個人の部には、各都道府県で予選を勝ち抜いた106人が参加した。

鈴木さんは予選リーグを3勝1敗で突破。決勝トーナメントでは、準々決勝で昨年の優勝経験者を破るなど快進撃を続け、決勝戦で東京代表・実践学園1年の小野ゆかりさんを破って栄冠を手にした。

鈴木さんは、小学6年生から別府市石垣の将棋センターに通い、大人に交じって腕を磨き、その後、中学時代に全国大会でベスト16入りするなど頭角を現した。さらに昨年の第23回全国高等学校将棋選手権大会では3位に入賞し、今回の選手権でついに全国制覇を果たした。鈴木さんは来年の選手権にも出場して連覇を狙いたいと意欲をみせている。広瀬大分県知事は鈴木さんに県民栄誉賞にあたる「県賞詞」を授与した。



「県賞詞」を受け取る鈴木さん

管理栄養士、合格率上昇

2008年3月22日に実施された第22回管理栄養士国家試験の結果が5月8日に発表された。本学食物栄養学科の新卒の卒業生の合格率は76.7%で、昨年の58.6%より大きく上昇した。今年の全国の受験者総数は22,073人、合格者数は6,968人で合格率は31.6%であった。本学を含む管理栄養士養成施設の新卒者の平均合格率は80.6%であり、同養成施設の既卒者は9.4%、栄養士養成施設修了者は9.0%であった。年々厳しさをます国家試験に、一人でも多くの合格者を出すことのできるよう、教員一同これからも気を引き締めて学生の指導にあたっていく。

食物栄養学科 江崎 一子

第一步 全国舞台の挑戦始まる

何ごととも物ごとにはスタートを切る、いわゆる“第一步”ということがある。明豊にとってセンバツの歴史その第一歩が第80回記念センバツ大会出場であった。創部以来10年、すでに夏2度の出場をほこる野球部の歴史も、このセンバツの扉は重かった。九州大会初覇、出場は当然といわれながらも世間の風雪は強く、選手の頬を打った。

若い情熱の可能性、ほとばしる情熱それは社会への興味津々の時代でもある。集団の一人としての自覚そして責任、学校の名をかかげチームという集団の中でこそ出場出来る高校野球の世界、そこに喜びがあるわけでありそれは個人の力や資格では無い。

80回大会の開会式の選手入場のその一瞬、55名の努力を思い目頭が熱くなった。明豊の第一歩がセンバツの舞台にしるされた瞬間である。

80回大会はその第一歩をしるすに十分な成果があった。力不足に気づくのもまたそれは伝統の創造につながる。ただ歴史をつづただけの創造無き世界には伝統の芽吹きさえもあり得ないものである。

明豊高校野球部（監督） 大悟法久志

県下高校生による席上揮毫大会

8月1日（金）、本学第1体育館で「第46回大分県高等学校文化連盟席上揮毫大会」が開催されました。来年度6月に「九州高文連美術・書道・写真展大分大会」が本学で開催されるのに先立ち、高文連書道部事務局から来年度大会のリハーサル依頼があり、協力した次第です。揮毫大会には大分県下より38校、417名参加しました。大会は当日発表の臨書課題と創作課題に取り組むもの。体育館は猛暑と高校生の気力で熱気に満ちていました。「暑かったけれど、体育館が明るく書きやすかった」と、高校生から施設の使い易さが評価され、安堵した次第です。

国文学科 荒金信治

アンケートもとに禁煙教育

2003年に健康増進法が施行され、学校などの公共施設は、受動喫煙の防止のための措置を講ずるようになりました。別府大学では平成17年度から、建物内の喫煙を禁止し屋外の喫煙場所の指定を行いました。学生部と学生課の教職員で、定期的に校内巡視し、学生へ注意指導を行っています。

平成18年に、別府大学の学生全員に「たばこアンケート」を行いました。当時の学生の約70%、2444人の学生が回答を得ました。それによると、喫煙者は喫煙することは、何もよいことがないことをよく知っています。禁煙できないの、ニコチン依存症のせいだという事も、知っています。喫煙開始年齢など多くのことがわかりました。この結果は、これからの禁煙教育の貴重な資料となっていくと思います。

学生課保健室・健康相談室 森美加子

新任者紹介

1. 所属
2. 専門分野
3. 出身校(大学・大学院など)
4. 趣味
5. 愛読書「この一冊」
6. 別府大学の印象・学生に一言

丑木 幸男(うしき ゆきお)

1. 文学部史学科
2. 日本近代化、アーカイブズ学
3. 東京教育大学文学部史学科
4. 湯めぐり
5. 司馬遷『史記列伝』(小川環外訳、岩波文庫)
二千年前とは思えない人間の動向を生き生きと伝えており、歴史とそれを形成する人間の奥深さを通巻できる。
6. 覇気をもって積極的に自分らしさをアピールしてほしい。



阿部 博光(あべ ひろみつ)

1. 文学部史学科
2. 国際政治経済学、環境
3. 英国エディンバラ大学院 環境経済学(修士)専攻
4. 登山
5. 「通貨烈烈」船橋 洋一
ちょっと古い本だが、外国為替市場の政治的舞台裏をこれほどリアルに描いたものはない。
6. 貴重な大学生活。この瞬間が重要。何でも見てやろうという気持ちが大切です。



山本 弘(やまもと ひろし)

1. 文学部史学科
2. 法制史、法学
3. 九州大学大学院 法学府・基礎法学専攻・博士後期課程
4. 弓道、映画、お笑い
5. 『戦時期日本の精神史 1931～1945年』、『戦後日本の大衆文化史 1945～1980年』鶴見 俊輔
あらためて「日本」の社会を考えてみたくなる本。
6. 海、山、温泉、そして人情あふれる別府大学です。恵まれた環境の中で、大いに「学問」と「あそび」を楽しんでください。



田代 為寛(たしろ ためひろ)

(ペンネーム: 田代しんたろう)

1. 文学部芸術文化学科
2. マンガ
3. 早稲田大学政治経済学科 政治学科
4. サッカー(半月版が消耗してプレーできなくなりましたが…)
5. 宮沢賢治詩集「春と修羅」
講談社の絵本
6. 《創る人》が大好きです。みなさん、仲良くしてください。



小川 幸男(おがわ ゆきお)

1. 文学部人間関係学科
2. 臨床心理学、教育臨床学
3. 九州大学大学院教育学研究科 教育心理学専攻 博士後期課程 単位取得後退学
4. アルトサクソ演奏、スキー
5. 『ペルトの穴』神吉 拓郎
初老男性の、こだわりある生活をおしゃれに淡々と語るエッセイ集。肩の力を抜いた生き様が魅力。
6. すてきな出会いを重ねて、自分の持ち味を見つけて欲しいです。



横尾恵美子(よこお えみこ)

1. 文学部人間関係学科
2. 高齢者福祉、地域福祉、対人援助技術
3. 国際医療福祉大学大学院博士後期課程修了
4. 温泉めぐり
5. 生活支援額の構想 黒澤貞夫
生活支援の概念を明確にし、生活支援活動の共通と基盤とそれぞれの固有性を解明し、生活支援額の確立を目指した一冊です。
6. 「心理はわれらを自由にする」という言葉が大好きです。真面目で正直というのが学生の印象です。



林 真帆(はやし まほ)

1. 文学部人間関係学科
2. 社会福祉、ソーシャルワーカー実践論
3. 大分大学大学院 福祉社会科学研究科
4. 映画鑑賞、お菓子づくり
5. 鷺田清一「待つということ」
「待つ」という行為が、人との関係をいかに豊かにするものか教えてくれる一冊です。
6. 学生生活での様々な出来事を心で感じ、人とのふれあいの中で自分の力に目を向けてください。結構、大きな力が隠れているものです。



米持 英俊(よねもち ひでとし)

1. 食物栄養科学部食物栄養学科
2. 内科(循環器、臨床検査医学)
3. 愛媛大学医学部医学科
4. ゴルフ
5. なし
6. 人生で最も自由な時である大学生生活を楽しんでください。



加藤富民雄 (かとう ふみお)

1. 食物栄養科学部食物バイオ学科
2. 応用微生物学(発酵学)
3. 九州大学農学部化学卒業
同農学研究科農芸学
専攻修士課程
博士課程修了
4. 美味しい料理やお酒を楽しむこと
5. 「生物と無生物のあいだ」
川喜田愛郎氏と福岡伸一氏の同名
の本があり、どちらも微生物学やバ
イオテクノロジーに関連した興味
深い書です。
6. 明るい大学であるとの印象を持ちま
した。将来の方向を見つけて充実し
た生活を過ごしてほしいと思います。



河合 研一 (かわい けんいち)

1. 食物栄養科学部食物
栄養学科
2. 統計科学、計量ファイ
ナンス
3. 広島大学大学院社会科
学研究科 経済学専攻
4. 読書、パソコンいじり
5. 「関が原」司馬遼太郎著
文字通り「関が原の戦い」とそれに
至までの過程を描いた歴史小説です。
命運を賭した戦国諸大名の人間像
がよく分かります。
6. 一日一日を大切にしましょう。



土谷 洋子 (つちや ようこ)

1. 短期大学部食物栄養
科
2. 栄養教育、給食実務
3. 京都女子大学短期大学
部家政学科食物専攻
4. 旅行
5. 「白い夏の墓標」帯木 蓮生
愛読書は特にありませんが、一度し
か読まない本が多い中でこの本は
二度読んでしまいました。



6. トイレの掃除がいきとどいている
大学との印象を受けました。体が資
本です。しっかり食べて健康に留意
して下さい。

安部 義和 (あべ よしかず)

1. 短期大学部初等教育
科
2. 教職、地理
3. 大分大学教育学部中
社課程
4. 「ぶらり旅」(あまり遠くでないところ)
5. パートランド・ラッセルの「西洋哲
学史」
哲学者の生い立ちやエピソードが
たくさんあって思索する生活への
よい入門書です。
6. みんな元気で明るく楽しい学園です。
各人の目標実現のためには、立ち止
まって考えることがとても大切です。



児玉 元治 (こだま げんじ)

1. 短期大学部初等教育科
2. 教科教育(算数)
3. 大分大学
4. 書道
5. 歴史小説
6. 将来の目標(就職先)を定め、前向き
にコツコツ頑張る学生が多くみら
れる。多様な研究会に所属し将来に
生かせる活動をしている学生多く
みられる。



野村 卓美 (のむら たくみ)

1. 短期大学部地域総合科
学科
2. 中世仏教大学(最近は、
明恵や、貞慶に関心を
持っている)
3. 大東文化大学院博士課程満期退学
4. ランニング
5. 『モンテクリスト伯』



6. 豊かな自然と温泉に囲まれた町で、
学問に励める皆さんは幸せです。も
う少し、元気を出して欲しいです。
先日、京都の著名な寺院に御所蔵の
文章の翻刻許可を依頼すると、副任
職が本大学の卒業生でした。幅広く
卒業生が活躍されていることに驚
かされました。皆さんも恵まれた環
境を生かして頑張ってください。

三浦 勝良 (みうら かつよし)

1. 短期大学部地域総合
科学科
2. 情報科学・電子工学
3. University of Ne-
braska at Omahaネ
ブラスカ大学オマハ校(情報科学学
部 修士課程)
4. ウィンドサーフィン、遺跡めぐり
5. 「SOURCE」(あなたの人生の源は、
ワクワクすることにある。)」マイク・
マクナナス著(勇気を与えてくれる
親友の様な本です。)
6. とってもアットホームな大学ですね。
学生の皆さんがワクワクするよう
な授業をしたいです。



杉野 寿子 (すぎの ひさこ)

1. 短期大学部地域総合
科学科
2. 社会福祉学
3. 大分大学大学院福祉
社会科学部研究科(修士)
4. ヨガ、旅、アラブ音楽鑑賞、笑いのネ
タ探し、茶道
5. 「こんな夜更けにバナナかよ」渡辺
一史著
人が生きるということ、成長するとい
うことを深く教えられるノンフ
ィクションの1冊です。
6. とても人なつっこく明るいですね(ま
だ大分校のことしかわかりませんが…)
学生のみなさんからいつも元気を
もらっています。ありがとう。



古庄 未来 (ふるしょう みき)



1. 法人事務局総務部総務課
3. 別府大学短期大学部 初等教育科 保育・幼稚園コース
4. 音楽鑑賞、読書
5. 「失はれる物語」乙一著
非現実的な物語なのに、現実的な気がしてくる不思議な作品です。独特の世界観が好きで乙一の作品はよく読んでいます。
6. 今自分にできること、今しかできないこと、をしっかりと見つけて楽しく有意義な学生生活を送ってください。

盛本功爾郎 (もりもと こうじろう)



1. 大学事務局企画室長
3. 早稲田大学
4. 料理、自然散策
5. 「開墾の記」坂本 直行
6. 小さな大学の良さ、優しさを感じます。大切にしたいですね。

矢野 史 (やの ふみ)



1. 大学事務局 教務事務部 庶務
3. 大分大学工学部 知能情報システム工学科
4. 旅行・ドライブ・買物
5. 「ホームレス中学生」田村 裕著
6. どんなに辛い状況でも不平・不満を言わず、前向きに生きることがを学べる。大学生活はとても自由な時間だと思うので、自分が興味がある事を探してチャレンジしてください。時間を有効に使いましょ。

片岡 大輔 (かたおか だいすけ)



1. 留学生課
3. 別府大学史学科
4. 特にないけど、サッカーやフットサルなどで体を動かすこと
5. 「がんばっていきまっしょい」最近、読みました。愛媛が舞台になっているのでという理由で…とても良い物語ですので是非読んでみて下さい。
6. 「今」しかできないことを学生生活の中で、しっかりとして下さい。充実した大学生活を送って下さい!!

福山 元子 (ふくやま もとこ)



1. 学生課 (臨床心理相談室)
3. 別府大学大学院 文学研究科 臨床心理学専攻 修士課程
4. 旅
5. 『きらきらひかる』江國香織著 (愛読書ではありませんが) 色々な形がある方が好きで、それはとても素敵なことだと感じます。
6. 出逢いを大切に、迷いながらも笑える日々を送れたら良いですね。

矢野 義記 (やの よしき)



1. 教務課食物栄養科学部出向実験助手
3. 別府大学大学院食物栄養科学研究科 食物栄養学専攻
4. 映画鑑賞
5. わかりやすいEBNと栄養疫学 佐々木 敏
6. 人との出会いを大切にして、様々な事を学んでほしいと思います。

隅田 早苗 (すみだ さなえ)



1. 教務課食物栄養科学部出向実験助手
3. 別府大学食物栄養科学部
4. 料理、スポーツ、ヨガ
5. “自分の中から幸運があふれ出す本”
6. 今しかできない事にどんどんチャレンジして、思い出を沢山つくってください!! 常に感謝の気持ちを忘れずに!!

竹本 留美 (たけもと るみ)



1. 大分キャンパス
3. 別府大学短期大学部 食物栄養科
4. 旅行、ドライブ、読書
5. “金子みすず”著の詩集
中でも「わたしと小鳥とすずと」は、それぞれが違っていいと言う、個性を認めあう詩であり、学生さんにはぜひ、読んでもらいたい詩です。
6. 人生の中で、学生生活は1度きりです。最高の思い出を作ってくださいね。

学校法人別府大学の事業報告

1. 学部・学科の設置等

(大学部門)

社会的要請、時代的背景を踏まえ、平成21年4月1日の開設を目指し、次の大学改革に努めた。

- (1) 文学部の全面的な改組及び食物栄養科学部食物バイオ学科を発酵食品学科へ名称変更するため、文部科学省に届出を行い、平成20年6月30日に受理された。
- (2) 国際経営学部国際経営学科の新設を計画した。現在、文部科学省に寄附行為変更認可申請中である。

(短期大学部門)

平成20年4月から専攻科福祉専攻の入学定員を現行の25名から35名に増員するため、平成19年9月26日付で学則の変更承認申請を厚生労働省に行い、平成20年3月13日付で承認された。また平成19年12月10日付で同変更届を文部科学省に行った。

2. 教育研究活動

(大学・短期大学部門)

- (1) 「地域連携研究コンソーシアム大分」の発足

大分大学をはじめとする県内の大学等で地域活性化に貢献するため、大学を横断した研究体制組織として、「地域連携研究コンソーシアム大分」の立ち上げに取り組み、平成20年2月に発足した。別府大学は「重要な景観的文化財に関する調査研究」

等を他の大学と連携して共同研究にあたる。

- (2) 大分大学との間で学部学生の単位互換を推進

大分大学との間で学部学生の単位互換を推進するため、その制度の構築について協議を続け、平成20年4月からの実施に向けて成案を策定した。

- (3) 教育内容の改善

教育内容・方法等の改善や前年度の認証評価報告を踏まえ、授業評価・教育研究活動の継続的な改善・向上に努めるため、ファカルティ・ディベロップメント(FD)研修会を平成20年度からの義務化に先駆け実施した。短期大学部専攻科初等教育専攻が推進した「教育マイスター研修」の取り組みは、学生だけでなく教育現場からも高い評価を得た。

- (4) 外部資金(競争的資金)の獲得

外部資金の獲得に向けた取り組みを推進するため、規程及び研究活動行動規範等を整備した。主な獲得の実績として、文部科学省から次の4件がある。大学部門では、別府大学メディア教育・研究センターのサイバーキャンパス基盤整備事業(継続2年目)、食物栄養科学部の味覚センサー・システム整備事業、短期大学部門では、地域総合科学科の学生支援GP「進路支援対策一貫システムの構築」(継続2年間の初年度)、アスベスト対策事業である。

- (5) 高度情報化への対応とその充実・強化

大分キャンパスインテリジェントセンター内に「テ

レビ会議システム」を導入し、別府キャンパス図書館との双方向会話を実現し、教育研究活動に活かして学習効果の向上を図っている。

(附属学校部門)

- (1) 明豊高等学校では、生徒の進路指導・学習意欲向上策として、キャリアガイダンスを充実させるとともに別府大学教員による「進路啓発講演会」や「出前授業」等を実施した。
- (2) 明豊中学では、進路目的に応じて「チャレンジクラス」「特別編成クラス」に分けて生徒を募集。授業の内容も5教科を中心に工夫し、生徒の個性を重視することで授業の改善が出来た。

3. 地域・企業との連携事業活動

- (1) 別府大学は、大分県が収蔵する旧大分香りの森博物館の収蔵品を利活用する事業に採択され、学園創立100周年記念事業の一環として、「大分香りの博物館」を建設し、平成19年11月29日に開館させた。この博物館は、学生・生徒の教育研究活動に活用し、また地場観光産業と連携等を進める。
- (2) 別府大学食物栄養科学部は、三和酒類株式会社と発酵・醸造製品の開発などを目的とした共同研究を行うこととし、研究員の人的交流も計画している。
- (3) 「ゆふの丘プラザ」では、入所利用者195団体、21,827人が自然体験学習、スポーツ活動及び国際

交流等の研修に利用した。

- (4) 地方公共団体等と受託研究事業13件を推進し、地域との連携に努めた。
- (5) 公開講座として、大学と短期大学部で19講座、延べ3,189名の市民、学生等が参加した。

4. 国際交流活動

- (1) 大分香りの博物館の開館を記念して「駐日フランス大使ジルダ・ル・リデック氏と語る会」を開催。200名を超える学生、市民が参加してフランス国の事情、日本文化など幅広い分野について意見交換をするなど充実した国際交流会が行われた。同時に、フランス国立教員養成大学の学生10数名が短期大学部初等教育科等に来学したのを機に、相互訪問を実現して国際交流の成果を上げた。
- (2) 別府大学国際セミナーを夏・冬の2回実施し、国際教育・学術交流を締結している学校を中心に25校より325名の学生を受け入れた。国際教育・学術交流協定校は新たに2校と国際交流協定を締結し、70校となった。
- (3) 明豊中学・高等学校は韓国、台湾、ニュージーランド、フランスの9校の国際交流協定校と相互訪問等を通じ、国際交流を深めた。

5. スポーツ・文化芸術活動の充実・強化

- (1) スポーツ部門においては、高校と大学の野球部が九州大会で優勝し全国神宮大会に出場、高校野球部が選抜高校野球甲子園大会に初出場するなど活躍が目立った。中学・高校の卓球部ではフランスで行われた世界大会でダブルス優勝、JOC Jr. オリンピックカップで優秀な成績を収めるなど世界レベルで活躍するなど、大分国体をひかえ各種スポーツ部門で優秀な成績を収めた。
- (2) 芸術・文化部門においては、大分県統計クラブコンクール「中学の部」で県知事賞を受けるなど各種コンクールで優秀な成績を収めた。

6. 学生・生徒・児童・園児の在籍数（以下「学生数」と表示）

学校法人全体の学生数は下記表のとおり 5,459 人、前年度より 144 人減少した。

平成 19 年 5 月 1 日現在、単位：人

学 校	学 科 等	H19 年度
別府大学	大学院	106
	文学部	2,064
	食物栄養科学部	356
	別科日本語課程	56
	大学小計	2,582
別府大学短期大学部	食物栄養科	103
	初等教育科	325
	保育科	145
	地域総合科学科	252
	専攻科 (福祉・初等教育)	62
	短大小計	887
明豊高等学校	全日制課程・ 通信制課程	642
明豊中学校		153
明星小学校		270
附属幼稚園		152
明星幼稚園		225
附属看護専門学校	全日制課程・ 通信制課程	412
境川保育園		66
春木保育園		70
	学校法人合計	5,459

学校法人別府大学の財務状況

資金収支計算書

平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで

(単位：百万円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,635	3,641	△ 6
手数料収入	58	66	△ 8
寄付金収入	35	42	△ 7
補助金収入	1,035	1,104	△ 69
国庫補助金収入	609	665	△ 56
地方公共団体補助金収入	426	439	△ 13
その他補助金収入	0	0	0
資産運用収入	99	97	2
資産売却収入	0	0	0
事業収入	422	405	17
雑収入	228	270	△ 42
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,712	1,620	92
その他の収入	1,152	1,837	△ 685
資金収入調整勘定	△ 1,989	△ 2,041	52
前年度繰越支払資金	3,301	3,301	0
収入の部合計	9,688	10,342	△ 654

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,227	3,228	△ 1
教育研究費支出	1,044	946	98
管理経費支出	398	329	69
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	856	908	△ 52
設備関係支出	284	263	21
資産運用支出	212	912	△ 700
その他の支出	286	259	27
予備費	30	0	30
資金支出調整勘定	△ 188	△ 272	84
次年度繰越支払資金	3,539	3,769	△ 230
支出の部合計	9,688	10,342	△ 654

消費収支計算書

平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで

(単位：百万円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,635	3,641	△ 6
手数料収入	58	66	△ 8
寄付金収入	48	58	△ 10
補助金収入	1,035	1,104	△ 69
国庫補助金収入	609	665	△ 56
地方公共団体補助金収入	426	439	△ 13
その他補助金収入	0	0	0
資産運用収入	99	97	2
資産売却差額	0	0	0
事業収入	422	405	17
雑収入	228	270	△ 42
帰属収入合計	5,525	5,641	△ 116
基本金組入額合計	△ 352	△ 408	56
消費収入の部合計	5,173	5,233	△ 60

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,202	3,210	△ 8
教育研究費	1,575	1,475	100
管理経費	435	364	71
借入金等利息	0	0	0
資産処分差額	54	51	3
徴収不能額	11	16	△ 5
予備費	30	0	30
消費支出の部合計	5,307	5,116	191
当年度消費収入超過額	△ 134	117	
前年度繰越消費収入超過額	82	82	
基本金取崩額	60	69	
翌年度繰越消費収入超過額	8	268	

貸借対照表

平成 20 年 3 月 31 日現在

(単位：百万円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	23,969	24,011	△ 42
有形固定資産	15,226	14,712	514
土地	3,995	3,927	68
建物	7,664	7,554	110
構築物	734	709	25
教育研究用機器備品	1,186	1,189	△ 3
その他の機器備品	117	101	16
図書	1,232	1,209	23
車輛	17	23	△ 6
建設仮勘定	281	0	281
その他の固定資産	8,743	9,299	△ 556
借地権	25	25	0
電話加入権	0	0	0
施設利用権	457	398	59
有価証券	3	3	0
各種引当特定預金	8,258	8,873	△ 615
流動資産	4,070	3,608	462
現金・預金	3,769	3,301	468
未収入金	279	274	5
前払金	14	26	△ 12
貯蔵品	8	7	1
資産の部合計	28,039	27,619	420

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,178	1,196	△ 18
長期借入金	0	0	0
退職給与引当金	1,178	1,196	△ 18
流動負債	1,921	2,009	△ 88
短期借入金	0	0	0
未払金	249	210	39
前受金	1,620	1,747	△ 127
預り金	52	52	0
負債の部合計	3,099	3,205	△ 106

基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第 1 号基本金	21,704	20,759	945
第 2 号基本金	1,218	1,825	△ 607
第 3 号基本金	1,400	1,400	0
第 4 号基本金	350	348	2
基本金の部合計	24,672	24,332	340

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	268	247	186
消費収支差額の部合計	268	247	186
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	28,039	27,619	420

監事監査報告書

財産目録

平成 20 年 3 月 31 日現在	(単位：百万円)
Ⅰ 資産総額	28,039
内 基本財産	15,452
運用財産	12,587
収益事業用財産	0
Ⅱ 負債総額	3,099
Ⅲ 正味財産	24,940

(単位：百万円)

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	186,490㎡ 3,789
建物	82,565㎡ 7,614
図書	324,637 冊 1,232
教具・校具・備品	15,057 点 1,303
その他	1,513
小 計	15,452
2 運用財産	
現金預金	3,769
積立金	8,259
土地	3,030㎡ 206
建物	673㎡ 49
その他	304
小 計	12,587
3 収益事業用財産	0
資産総額	28,039
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	0
退職給与引当金	1,178
2 流動負債	
短期借入金	0
前受金	1,620
その他	301
負債総額	3,099
正味財産(資産総額－負債総額)	24,940

学校法人別府大学
理事長 西村 駿一 殿

平成20年5月8日
学校法人別府大学

監 事 此本 英一郎 
監 事 三浦 義 人 

私たち監事は、学校法人別府大学寄附行為第15条に従い、平成19年度（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）について、会計及び業務の監査を行った結果、次のとおり報告します。

1. 監査の方法

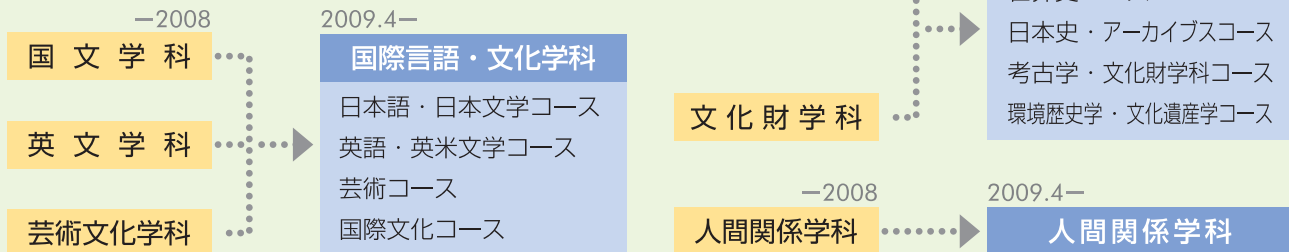
- (1) 会計監査については、会計帳簿と証憑書類との実査、照合等を行い、計算書類の正確性を確認しました。また、公認会計士に監査結果の報告を求め、あるいは適時その監査に立ち会い、公認会計士監査との連携を図りました。
- (2) 業務監査については、理事会に出席して業務の報告を聴取し、理事の業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表、財産目録及び事業報告書は、会計帳簿の記載金額と一致し、かつ、学校法人会計基準等の法令に準拠し、学校法人の収支状況及び財政状態を正しく示す適正なものであることを認めます。
- (2) 理事の業務執行の状況は適正であることを認めます。

以上

2009年4月 文学部が変わります



2009年4月 食物栄養科学部の食物バイオ学科が発酵食品学科に名称変更します

2009年度 別府大学 文学部・食物栄養科学部・国際経営学部（設置認可申請中）入試の概要

区 分	推薦1期	推薦2期	推薦3期	A日程1 / A日程2	B日程／センター利用1期	C日程／センター利用2期	D日程／センター利用3期
	指定校(国経)	推薦1期(国経)	推薦2期(国経)		国際経営学科のセンター利用入試はありません		
募集人数	入学定員の約 50%			各学科とも入学定員の約 50%			
出願期間	11/1(土)～10(月)	12/1(月)～9(月)	1/6(月)～15(月)	1 / 13(月)～23(金)	2 / 5(月)～13(金)	2/24(月)～3/6(金)	3 / 13(金)～3(月)
試 験 日	11 / 14(金)	12 / 13(日)	1 / 21(月)	2 / 2(月)・3(月)	2 / 18(月)	3 / 10(月)	3 / 25(月)
合格発表	11 / 21(金)	12 / 18(月)	1 / 24(土)	2 / 9(月)	2 / 25(月)	3 / 16(月)	3 / 26(月)
手続締切	12 / 1(月)	12 / 26(金)	2 / 3(月)	2 / 19(月)	3 / 6(金)	3 / 27(金)	3 / 31(月)
試 験 場	本学・北九州・福岡 熊本・日田・延岡 宮崎・鹿児島・那覇	本 学		2/2：本学・広島・北九州・福岡・長崎・熊本 日田・延岡・宮崎・鹿児島・那覇 2/3：本学・福岡	本 学	本 学	本 学
入試内容	国際言語・文化学科			必須：全学科とも国語（現代文）60分100点 選択：各学科とも下記より1教科1科目 60分100点	選択：各学科とも下記より2教科2科目 120分 各100点 計200点	国際言語・文化学科	全学科…面接 食物栄養学科は D日程を実施し ない
	小論文600字 マンガ・デッサン デッサン 色彩構成 書道			試験教科 国際言語・文化学科	国際言語・文化学科	小論文600字 マンガ・デッサン デッサン 色彩構成 書道	から1つ選択 60分
	史学・文化財学科 人間関係学科 食物栄養学科 発酵食品学科 国際経営学科 (設置認可申請中)			試験教科 史学・文化財学科 人間関係学科 国際経営学科(設置認可申請中) ※簿記・会計は国経のみ選択可	史学・文化財学科 人間関係学科 国際経営学科(設置認可申請中) ※簿記・会計は国経のみ選択可	史学・文化財学科 人間関係学科 食物栄養学科 発酵食品学科 国際経営学科 (設置認可申請中)	小論文600字 60分
	●各学科とも面接を課す			試験教科 食物栄養学科 発酵食品学科	食物栄養学科 発酵食品学科	●各学科とも面接を課す	
	※食物栄養学科は推薦3期を実施しない ※国際経営学科の指定校は、書類審査・面接（試験場・本学）			試験科目 国語…現代文 地理歴史…日本史B／世界史B／地理Bから1科目 公民…現代社会／政治・経済から1科目選択 数学…数学Ⅰ・数学A 理科…化学Ⅰ／生物Ⅰから1科目 外国語(英語)…英語Ⅰ、英語Ⅱ、リーディング、ライティング 芸術…マンガ・デッサン／デッサン／色彩構成／書道から1つ	簿記・会計…簿記・会計	※センター利用入試の科目については、入試要項を参照してください。 ※国際経営学科のセンター利用入試はありません。	

※マンガ・デッサン、書道は鉛筆持参（2B～4B）。デッサンは鉛筆デッサン用具一式持参（カルトン貸与）。色彩構成は道具一式貸与。

※国経＝国際経営学科